



## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 フルテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6546 URL https://www.fulltech1963.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 重幸  
 社長執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 康之 (TEL) (011)-222-3572  
 管理本部長兼経営企画室長  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日 2022年3月31日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (当社ホームページに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期の連結業績 (2021年1月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	11,506	△1.4	628	15.4	671	15.6	436	57.1
2020年12月期	11,670	1.8	544	△18.1	581	△17.4	277	△33.4

(注) 包括利益 2021年12月期 425百万円 (81.9%) 2020年12月期 233百万円 (△52.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2021年12月期	円 銭 81.34	円 銭 —	% 6.9	% 6.3	% 5.5
2020年12月期	51.78	—	4.5	5.5	4.7

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 一百万円 2020年12月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2021年12月期	百万円 11,056	百万円 6,450	% 58.3	円 銭 1,201.83
2020年12月期	10,407	6,170	59.3	1,149.56

(参考) 自己資本 2021年12月期 6,450百万円 2020年12月期 6,170百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2021年12月期	百万円 490	百万円 △312	百万円 △212	百万円 1,841
2020年12月期	445	△782	△252	1,876

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 27.00	百万円 144	% 52.1	% 2.4
2021年12月期	—	10.00	—	18.00	28.00	150	34.4	2.4
2022年12月期(予想)	—	10.00	—	18.00	28.00		42.9	

## 3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	12,480	8.5	540	△14.1	560	△16.7	350	△19.8	65.21

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	5,367,800株	2020年12月期	5,367,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期	150株	2020年12月期	150株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	5,367,650株	2020年12月期	5,367,662株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	11,486	△1.4	552	43.7	616	37.7	399	111.2
2020年12月期	11,653	1.9	384	△26.7	447	△24.1	189	△43.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期	74.49		—					
2020年12月期	35.27		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2021年12月期	10,062	5,557	55.2	1,035.30		
2020年12月期	9,414	5,311	56.4	989.62		

(参考) 自己資本 2021年12月期 5,557百万円 2020年12月期 5,311百万円

<個別業績の前期実績との差異理由>

当事業年度の増益の要因につきましては、収益性の高いリニューアル売上が好調に推移したことに加え、新規販売における採算管理の徹底が奏功し、売上総利益率が上昇したことによるものです。なお、当期純利益につきましては、前事業年度は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失64百万円、札幌支店の移転新築に伴う旧社屋の解体費用35百万円及び固定資産除却損44百万円を特別損失に計上しておりましたが、当事業年度は同規模の特別損失の計上が無いことから、大幅な増益となりました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

<将来に関する記述等についてのご注意>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

<決算説明会について>

当社は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決算説明会の開催に代えて、昨年同様、決算説明動画を当社ホームページに掲載いたします。(2022年3月上旬予定)

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、国内におけるワクチン接種率の高まりや海外経済の改善等により景気の持ち直しが見られました。しかしながら、新たな変異株の感染が急激に拡大しており、その先行きは極めて不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループは、デジタルマーケティング導入を始めとする営業力の強化に加え、業務効率化による物件採算性の改善や自動ドア用非接触スイッチ等の衛生対策商品を含めたトータルリニューアルの受注推進に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は11,506百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は628百万円(前年同期比15.4%増)、経常利益は671百万円(前年同期比15.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は436百万円(前年同期比57.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 自動ドア関連

リニューアル売上が好調に推移し、売上高は7,832百万円(前年同期比3.9%増)となりました。利益につきましては、リニューアル売上の増加に加え、新規販売の採算性が改善したことにより、セグメント利益(営業利益)は2,070百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

#### ② 建具関連

大型物件の売上数が減少したことにより、売上高は3,160百万円(前年同期比8.2%減)となりました。利益につきましては、採算性の低い物件が減少したことにより、セグメント損失(営業損失)は57百万円(前年は111百万円のセグメント損失(営業損失))となりました。

#### ③ その他

環境機器事業及び駐輪システム事業の売上減少により、売上高は513百万円(前年同期比25.7%減)、セグメント利益(営業利益)は46百万円(前年同期比27.2%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、11,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ648百万円増加しました。これは主に、仕掛品が494百万円、ソフトウェア仮勘定が241百万円増加した一方で、建物及び構築物(純額)が71百万円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の負債は、4,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加しました。これは主に、電子記録債務が422百万円、流動負債のその他に含まれる前受金が252百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が274百万円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末の純資産は、6,450百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益436百万円の計上と配当金144百万円の支払及びその他有価証券評価差額金が9百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は490百万円（前年同期比9.9%増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益662百万円、仕入債務の増加額148百万円、減価償却費147百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額508百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は312百万円（前年同期比60.1%減）となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出251百万円、有形固定資産の取得による支出39百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は212百万円（前年同期比15.6%減）となりました。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出163百万円、配当金の支払額144百万円であり、収入の内訳は長期借入れによる収入100百万円であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率 (%)	57.2	58.9	62.0	57.6	59.3	58.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	55.3	80.8	63.6	68.1	76.6	69.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.4	0.3	0.5	0.4	0.6	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	372.9	413.5	577.4	1,694.2	307.4	236.0

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 各指標は、下記の基準で算出しております。

自己資本比率……………自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率……………株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率…………有利子負債÷キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ……………キャッシュ・フロー÷利払い

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

4. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

5. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

#### (4) 今後の見通し

2022年12月期の連結業績につきましては、売上高12,480百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益540百万円（前年同期比14.1%減）、経常利益560百万円（前年同期比16.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益350百万円（前年同期比19.8%減）を見込んでおります。

売上原価及び経費の増加を考慮し、増収減益の業績予想となっております。

売上原価の増加は、材料費の高騰に加え、2022年12月期期首からの「収益認識に関する会計基準」の適用に併せて、「工事損失引当金」の算定方法の一部変更を予定しているものであります。

経費の増加は、期中に新基幹システムの稼働を予定しており、償却費負担の増加を見込んでいることによるものであります。

このような状況の中、当社グループは、ウィズコロナ時代における自動ドア需要の変化や今後の材料費の高騰等、あらゆる環境下においても、安定した収益確保が可能な体制を構築するため、2022年12月期の経営方針を「稼ぐ力を高める構造改革」とし、人材の確保と育成、収益力の向上及び成長戦略の再構築に注力してまいります。

具体的には、首都圏への人材投入の強化や従業員のスキルアップによる生産性の向上、リニューアル受注推進と新規販売の採算管理の徹底を継続してまいります。

また、保守契約率の向上のため、昨年1月より開始したサービス「Fi-R」（IoTを活用し、従来の年3回から年1回点検を可能とするサービス）の拡大を推進し、保守契約率の向上に努めてまいります。

加えて、積極的なM&Aや異業種との提携模索を含めた成長戦略の再構築を目指してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の採用動向を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,896,318	1,861,273
受取手形及び売掛金	1,640,301	1,650,298
電子記録債権	418,213	514,682
仕掛品	1,430,994	1,925,786
原材料及び貯蔵品	180,728	194,440
その他	639,449	578,502
貸倒引当金	△1,577	△1,640
流動資産合計	6,204,427	6,723,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,525,055	1,453,508
機械装置及び運搬具（純額）	24,965	20,916
工具、器具及び備品（純額）	27,042	21,725
土地	1,414,325	1,414,325
リース資産（純額）	9,085	5,569
建設仮勘定	-	247
その他（純額）	6,564	5,347
有形固定資産合計	3,007,039	2,921,640
無形固定資産		
借地権	11,810	11,810
ソフトウェア	107,867	95,415
ソフトウェア仮勘定	149,617	390,942
その他	11,176	10,517
無形固定資産合計	280,470	508,685
投資その他の資産		
投資有価証券	395,522	374,693
出資金	2,650	2,650
長期貸付金	2,454	1,034
繰延税金資産	102,109	86,363
敷金及び保証金	106,408	106,508
保険積立金	318,383	344,760
その他	7,759	6,422
貸倒引当金	△19,929	△20,069
投資その他の資産合計	915,359	902,363
固定資産合計	4,202,869	4,332,688
資産合計	10,407,297	11,056,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,270,250	1,996,014
電子記録債務	-	422,476
1年内返済予定の長期借入金	147,048	133,838
リース債務	4,326	1,822
未払金	284,151	239,773
未払法人税等	54,171	148,043
未払消費税等	118,357	119,531
前受収益	417,396	418,918
製品保証引当金	3,406	2,397
工事損失引当金	366	52
建物解体費用引当金	35,000	-
その他	343,622	609,554
流動負債合計	3,678,095	4,092,423
固定負債		
長期借入金	121,846	71,348
リース債務	6,126	4,303
役員退職慰労引当金	238,767	247,550
退職給付に係る負債	189,478	186,666
その他	2,571	2,755
固定負債合計	558,790	512,623
負債合計	4,236,885	4,605,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	5,470,296	5,761,978
自己株式	△232	△232
株主資本合計	6,089,232	6,380,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,214	115,460
退職給付に係る調整累計額	△44,034	△45,388
その他の包括利益累計額合計	81,179	70,072
純資産合計	6,170,412	6,450,986
負債純資産合計	10,407,297	11,056,033



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	11,670,589	11,506,117
売上原価	7,842,494	7,461,765
売上総利益	3,828,094	4,044,352
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	△713	△1,009
役員報酬	92,670	99,300
給料及び手当	1,298,794	1,325,163
賞与	310,482	310,771
退職給付費用	41,185	42,375
役員退職慰労引当金繰入額	25,129	17,214
法定福利費	265,596	262,292
賃借料	304,336	312,476
その他	945,703	1,046,829
販売費及び一般管理費合計	3,283,185	3,415,414
営業利益	544,909	628,937
営業外収益		
受取利息	159	110
受取配当金	9,646	9,785
受取家賃	3,216	3,416
貸倒引当金戻入額	392	131
作業くず売却益	11,342	21,754
受取補償金	7,352	-
その他	10,252	11,095
営業外収益合計	42,360	46,292
営業外費用		
支払利息	1,450	2,076
リース解約損	486	230
控除対象外消費税等	2,351	979
貸倒損失	1,500	-
その他	334	2
営業外費用合計	6,122	3,289
経常利益	581,148	671,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	329	-
特別利益合計	329	-
特別損失		
固定資産除却損	45,297	1,175
減損損失	64,760	6,944
投資有価証券評価損	6,293	1,714
建物解体費用引当金繰入額	35,000	-
その他	2,477	-
特別損失合計	153,828	9,834
税金等調整前当期純利益	427,649	662,107
法人税、住民税及び事業税	157,695	204,799
法人税等調整額	△7,980	20,698
法人税等合計	149,714	225,498
当期純利益	277,934	436,608
親会社株主に帰属する当期純利益	277,934	436,608

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	277,934	436,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,241	△9,753
退職給付に係る調整額	△1,804	△1,353
その他の包括利益合計	△44,046	△11,107
包括利益	233,887	425,501
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	233,887	425,501

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	329,304	289,864	5,342,656	△200	5,961,624	167,456	△42,229	125,226	6,086,851
当期変動額									
剰余金の配当			△150,294		△150,294				△150,294
親会社株主に帰属する当期純利益			277,934		277,934				277,934
自己株式の取得				△32	△32				△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△42,241	△1,804	△44,046	△44,046
当期変動額合計	-	-	127,639	△32	127,607	△42,241	△1,804	△44,046	83,560
当期末残高	329,304	289,864	5,470,296	△232	6,089,232	125,214	△44,034	81,179	6,170,412

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	329,304	289,864	5,470,296	△232	6,089,232	125,214	△44,034	81,179	6,170,412
当期変動額									
剰余金の配当			△144,926		△144,926				△144,926
親会社株主に帰属する当期純利益			436,608		436,608				436,608
自己株式の取得					-				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△9,753	△1,353	△11,107	△11,107
当期変動額合計	-	-	291,681	-	291,681	△9,753	△1,353	△11,107	280,574
当期末残高	329,304	289,864	5,761,978	△232	6,380,914	115,460	△45,388	70,072	6,450,986

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	427,649	662,107
減価償却費	160,468	147,284
減損損失	64,760	6,944
固定資産除却損	45,297	1,175
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,889	202
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,937	8,782
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△66,650	△4,757
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	135	△313
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△713	△1,009
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	35,000	△35,000
受取利息及び受取配当金	△9,805	△9,895
支払利息	1,450	2,076
有形固定資産売却損益 (△は益)	△329	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,293	1,714
貸倒損失	1,500	-
売上債権の増減額 (△は増加)	111,954	△106,465
たな卸資産の増減額 (△は増加)	49,694	△508,504
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,314	148,241
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,198	1,174
その他の資産の増減額 (△は増加)	△65,733	59,315
その他の負債の増減額 (△は減少)	△8,575	223,730
その他	491	1,576
小計	773,821	598,379
利息及び配当金の受取額	9,805	9,895
利息の支払額	△1,450	△2,076
法人税等の支払額	△336,193	△116,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	445,982	490,104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19,514	△19,514
定期預金の払戻による収入	19,514	19,514
有形固定資産の取得による支出	△657,342	△39,687
有形固定資産の売却による収入	363	-
無形固定資産の取得による支出	△112,060	△251,234
投資有価証券の売却による収入	5,000	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△8,010	△5,223
敷金及び保証金の回収による収入	13,181	5,123
保険積立金の積立による支出	△25,058	△26,377
その他	1,592	245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782,336	△312,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△143,148	△163,708
リース債務の返済による支出	△8,661	△4,326
自己株式の取得による支出	△32	-
配当金の支払額	△150,395	△144,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252,237	△212,994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△588,590	△35,044
現金及び現金同等物の期首残高	2,465,394	1,876,803
現金及び現金同等物の期末残高	1,876,803	1,841,758

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響について、業績への影響は軽微であると仮定し、会計上の見直しを行っております。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、地域別に支店・営業所を置き、取り扱う製品・サービスについて各地域での包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。取締役会は、製品・サービス区分による事業業績の報告をもとに経営に関する意思決定を行っております。

したがって、当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動ドア関連事業」、「建具関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「自動ドア関連事業」は、ビルエントランスをはじめとした一般的な自動ドア開閉装置、工場等の大型重量扉に対応した自動ドア開閉装置等を仕入・販売しております。また、既存自動ドア等の保守・修理、取替・改修を行っております。「建具関連事業」は、ステンレス、アルミ、スチール等のサッシ、強化ガラス、框ドア等を生産（主にステンレス）・販売しております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,535,607	3,443,394	10,979,001	691,587	11,670,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	25,408	25,408
計	7,535,607	3,443,394	10,979,001	716,995	11,695,997
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,912,082	△111,384	1,800,698	63,949	1,864,647
その他の項目					
減価償却費	40,401	68,733	109,135	10,086	119,221

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,832,418	3,160,047	10,992,465	513,652	11,506,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	19,487	19,487
計	7,832,418	3,160,047	10,992,465	533,139	11,525,604
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,070,736	△57,634	2,013,102	46,554	2,059,656
その他の項目					
減価償却費	45,657	55,965	101,623	2,871	104,494

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産、負債につきましては、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための対象とはしていないため、記載しておりません。



## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,979,001	10,992,465
「その他」の区分の売上高	716,995	533,139
セグメント間取引消去	△25,408	△19,487
連結財務諸表の売上高	11,670,589	11,506,117

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,800,698	2,013,102
「その他」の区分の利益	63,949	46,554
全社費用(注)	△1,376,308	△1,457,597
棚卸資産の調整額	20,570	△9,121
その他の調整額	36,000	36,000
連結財務諸表の営業利益	544,909	628,937

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	1,149円56銭	1,201円83銭
1株当たり当期純利益	51円78銭	81円34銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	277,934	436,608
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	277,934	436,608
普通株式の期中平均株式数(株)	5,367,662	5,367,650

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないことから記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。